

長野県の地質と自然災害の特徴

—災害から何を学ぶか—

自然と共存し、命と財産をまもるために

信州大学 小坂共栄

高等教育コンソーシアム信州 K³茶論
(2009年6月18日)

1



- まえおき
- 1 身近で起きる自然災害
- 2 フォッサマグナの生い立ちと諏訪・松本盆地
 - 1) 日本列島の中のフォッサマグナ
 - 2) 糸魚川—静岡構造線の実像、地震と断層
 - 3) フォッサマグナの生い立ちと諏訪・松本盆地
- 3 長野県の自然災害の癖を学ぶ
 - 1) 土砂災害の起きやすいところ、起きにくいところ
 - 2) 活断層と地震災害
- おわりに
自然と共存し、命と財産を守るために

2

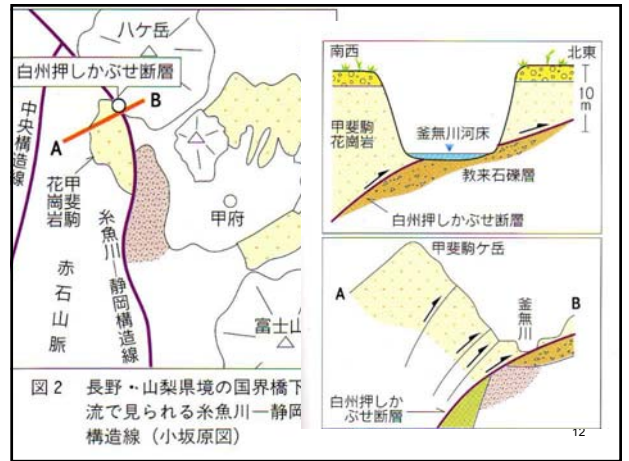


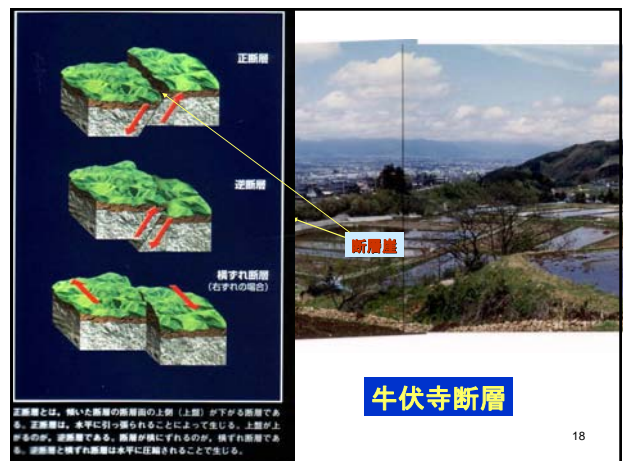
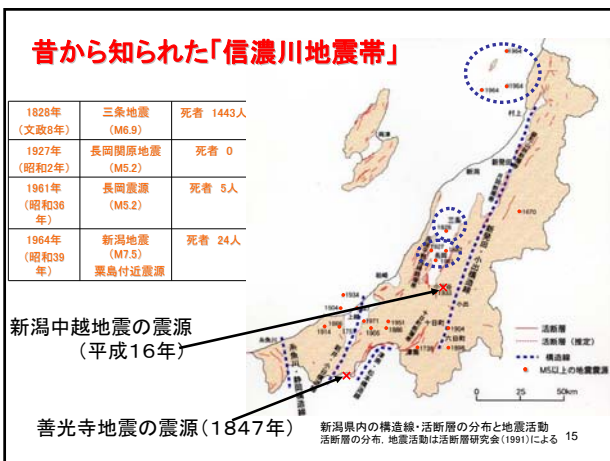
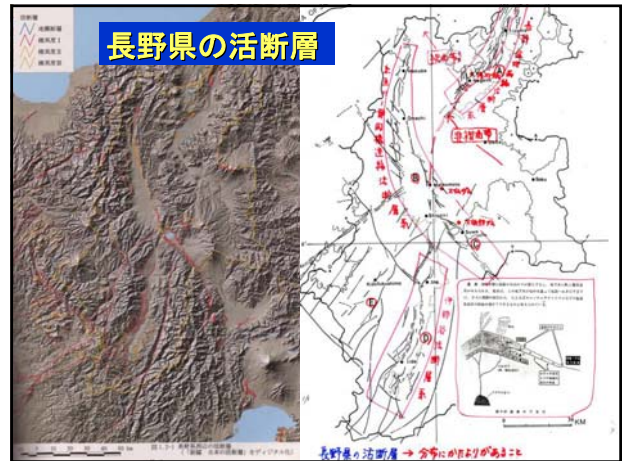
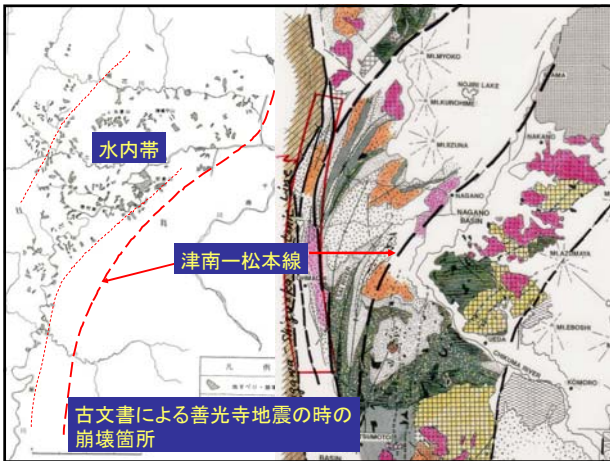
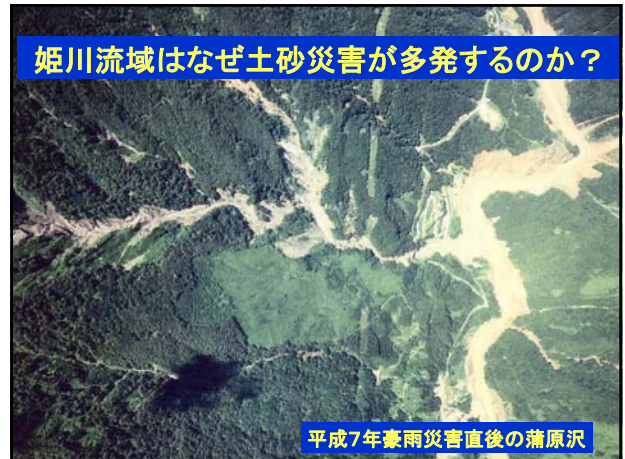
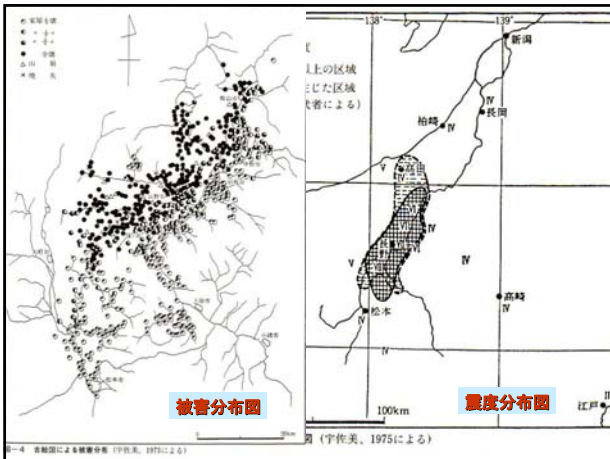
1 身近で起きる自然災害(土砂災害、火山・地震災害)

- 0) 平成18年7月豪雨災害
- 1) 平成16年秋台風による豪雨災害、浅間山噴火
- 2) 平成16年新潟中越地震災害
- 3) 平成7・8年、小谷村豪雨災害、蒲原沢土石流災害
- 4) 1985地附山地すべり災害
- 5) 1984長野県西部地震と御岳山大崩壊
- ・
- ・
- ・
- 6) 1847善光寺地震(M7.4)

3









自然と共存し、命と財産をまもるためには

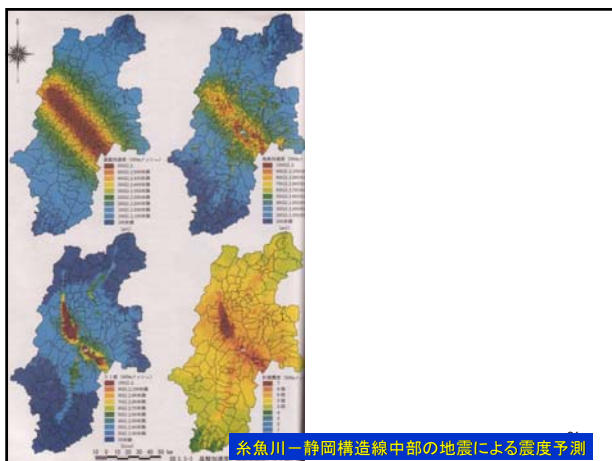
- 1) 自然の成り立ちを正しく理解する
生まれ育った大地、住んでいる土地に科学の目を向ける
- 2) 「自然災害」をよく知る
災害の素因と誘因を科学的な目で検証する
過去の災害事例に謙虚に学ぶ
- 3) 「災害」をおそれる
自然の力を甘く見ない！
- 4) 「自然災害」に備える(長期的戦略と短期的戦術)
「災害」は、忘れずにやってくる！
住民+行政+専門家共同で地域防災・ハザードマップづくり

22

長野県地震対策基礎調査 報告書 (概要版)

平成14年2月 長野県

| 目次 | |
|-----|---------------|
| 1 | 調査の概要 |
| 2 | 長野県の地形・地質及び地盤 |
| 3 | 想定地震 |
| 4 | 地震動等の予測 |
| 4.1 | 震度 |
| 4.2 | 震害化 |
| 4.3 | 地震土砂災害(斜面崩壊) |
| 5 | 物的・人的被害想定結果 |
| 5.1 | 建築物被害 |
| 5.2 | 出火・延焼被害 |
| 5.3 | 人的被害 |
| 5.4 | 交通施設の被害 |
| | (I) 道路施設 |
| | (II) 鉄道施設 |
| 5.5 | ライフラインの被害 |
| | (I) 上水道 |
| | (II) 都市ガス |
| | (III) 下水道 |
| | (IV) 電力 |
| 5.6 | 通信施設(電話)の被害 |
| 5.7 | シナリオ |
| 5.8 | 被害のまとめ |
| 6 | 新たな震源域による震害地盤 |



(1) 1999年12月26日 (日)

市民タイムス

信大の研究会
災害科学で地域支援
設立記念し公開報告集会

信州の自然災害

長野県の自然災害研究・防災研究の拠点として
「信州大学自然災害科学研究会」
「山岳科学総合研究所」
どうぞ宜しくお願い致します

信州大学自然災害科学研究会